



平成 30 年 8 月 10 日

各 位

株式会社省電舎ホールディングス  
代表取締役社長 西島 修  
(コード 1711 東証 2 部)  
問い合わせ先：管理本部長 田中 圭  
(03-6821-0004)

### 特別損失の発生並びに平成 30 年 3 月期通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）決算において、下記の通り特別損失を計上するとともに、平成 29 年 5 月 15 日に公表しました通期の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の内容及び金額について

平成 30 年 7 月 11 日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」にてお知らせしました通り、当社グループにおいて過去の決算において、不適切な会計処理がなされていることが発覚いたしました。そのため、過年度の決算について修正を行い、これに伴う調査費用等、過年度決算訂正費用として 110 百万円、課徴金引当金として 150 百万円、及び貸倒引当金 50 百万円（LED 工事に関連した未回収債権）、投資有価証券評価損 5 百万円（子会社保有中の取引先株式）、合計で 315 百万円を特別損失として計上することといたしました。

#### 2. 平成 30 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,955	98	92	52	9.62
今回実績 (B)	1,789	△284	△292	△582	△215.07
増減額 (B-A)	△1,166	△382	△384	△634	△224.69
増減率 (%)	△39.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績※ (平成 29 年 3 月期)	2,429	△36	△31	70	33.17

※平成 29 年 3 月期の実績につきましては、不適切な会計処理が行われていたため、訂正後の数値を記載しております。



### 3. 差異の理由

売上高および営業利益、経常利益につきましては、子会社のエールケンフォーで進めております太陽光発電設備（売上高 610 百万円、利益寄与 36 百万円）の完工に遅れが生じました。また、同じくエールケンフォー社で見込んでおりました再生エネルギー案件（売上高 138 百万円、利益寄与 66 百万円）も当期中に成約に至りませんでした。前者案件につきましては、今期中の完成を目指し、工事を継続しており、後者案件につきましては、今期第 1 四半期に計上を予定しております。

また、省電舎につきましても、下期に予定しておりました 2 件の太陽光発電設備関連の契約が成約に至りませんでした（2 件合計、売上高 887 百万円 利益寄与 96 百万円）。省エネルギー事業につきましては、利益率の高い大型案件の失注があったものの、小型案件の積み上げにより、売上高はほぼ予想とおりに推移しました。一方で、原材料費・人件費の高騰などにより、利益率が予定よりも低下し、同セグメントの利益は、予定に比し、約 150 百万円程度の減少となりました。

これらのことから、再生可能エネルギー関連事業にて売上高合計 1,635 百万円、利益寄与合計 198 百万円が当初見込みに対し、減少となりました。省エネルギー事業につきましては、売上高は見込みとおりに推移しましたが、利益で約 150 百万円が減少しております。販管費におきましては、過去の不適切な会計処理の調査に伴う社内委員会の設置と活動などにより、当初見込みに比し、約 40 百万円程度増加しております。

また、親会社株主に帰属する当期純利益及び、一株当たり当期純利益につきましては、上記の特別損失を計上した結果、業績予想を大幅に下回る結果となりました。

以 上